

株主通信 Vol.9
ゆうちょ銀行VISION

2020年3月期（2019年4月1日▶2020年3月31日）



JP
BANK ゆうちょ銀行

証券コード：7182

経営理念

お客様の声を明日への羅針盤とする
「最も身近で信頼される銀行」を目指します。

信 頼

法令等を遵守し、お客さまを始め、
市場、株主、社員との信頼、
社会への貢献を大切にします

変 革

お客様の声・環境の変化に応じ、
経営・業務の変革に真摯に取り組んでいきます

効 率

お客さま志向の商品・サービスを追求し、
スピードと効率性の向上に努めます

専門性

お客様の期待に応えるサービスを目指し、
不断に専門性の向上を図ります

CONTENTS

- P 3 トップメッセージ
- P 5 ゆうちょ銀行 TOPICS
- P 7 特集
- P11 決算ハイライト
- P13 株主スクエア／株主メモ
- P14 会社・株式情報
- 裏表紙 配当について

ごあいさつ

株主の皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。また、この度、新型コロナウイルス感染症により影響を受けられた皆さまに、謹んでお見舞い申し上げます。私から、当行の今後の取り組みなどについてご説明いたします。

株式会社ゆうちょ銀行
取締役兼代表執行役社長

池田 素人



トップメッセージ

2019年度の業績と取り組み

2019年度の業績は、連結経常利益3,791億円、親会社株主に帰属する当期純利益2,734億円となり、期末配当は1株当たり25円、中間配当と合わせた年間の配当は1株当たり50円といたしました。

当行は、2018年度から2020年度を計画期間とする中期経営計画で掲げた目指す姿の実現に向けて、「お客さま本位の良質な金融サービスの提供」「運用の高度化・多様化」「地域への資金の循環等」「経営管理態勢の強化」の諸施策に取り組みました。

「お客さま本位の良質な金融サービスの提供」では、2019年5月に、スマートフォン決済サービス「ゆうちょPay」の取扱いを開始しました。ユーザーの拡大と利用できる店舗の開拓に取り組み、2020年3月末時点では約10万店で利用が可能となっています。また、お客さまの住宅ローンニーズにお応えするため、ソニー銀行株式会社および株式会社新生銀行の住宅ローンを媒介する業務を開始しました。

「運用の高度化・多様化」では、国内の低金利環境が継続し、世界経済の先行きの不透明感が高まる中、安定的な収益確保のため、適切なリスク管理のもと、国際分散投資を進めました。そうした中、直近では新型コロナウイルス感染拡大によるマーケット環境の悪化を受け、当行に与える影響を確認のうえ、投資方針やリスク管理態勢を協議し、適切に対応しました。

「地域への資金の循環等」では、2019年度も事業承継や起業・創業の支援等を目的として、新たに10件（累計28件）の地域活性化ファンドに参加しました。また、ATMネットワークの活用等による地域金融機関との連携強化に取り組みました。

そして「経営管理態勢の強化」では、お客さま本位の業務運営に一層努めるとともに、コンプライアンス態勢の強化、リスクガバナンスの強化、サイバー攻撃への態勢強化、マネー・ローンダリングおよびテロ資金供与への対応強化、人事戦略、コストマネジメントの徹底・ITの有効活用、ESG（環境、社会、ガバナンス）に取り組みました。

2020年度の取り組み

現在、新型コロナウイルス感染症が、国際社会・世界経済にとって大きな脅威となっています。このような状況の中、当行では、「危機管理委員会」を立ち上げ、感染拡大防止策を導入するとともに、現金の入出金や決済業務など、社会機能維持のためお客さまが必要とするサービスを継続できるよう、社内の業務態勢を整えました。このように、感染拡大防止策や重要業務の継続態勢確保を進めるとともに、この間見られた社会・経済への対応においては、デジタル化が急務であり、これに積極的に取り組みます。

「お客さま本位の良質な金融サービスの提供」では、お客さまのライフプランに応じたコンサルティングを高度化するために、資産運用コンサルタントを育成するとともに、タブレットを活用してお客さまのニーズ把握をサポートするツールを充実するなど、お客さまへの「安心」のご提供を進めます。また、「ゆうちょPay」については、利用できる店舗の開拓、普及促進、サービス拡充等に取り組み、「ゆうちょ通帳アプリ」*については、機能追加や普及促進に取り組むなど、お客さまへの「新しいべんり」のご提供を進めます。

「地域への資金の循環等」では、引き続き、地域活性化ファンドへの出資を推し進めるとともに、ATMネットワークの活用や事務の共同化、グループ会社を含めた連携等を通じて、地域金融機関との協業関係を深めてまいります。

「経営管理態勢の強化」については、昨年度、すべてのお客さまに対するサービス向上を継続的に実践していくため、私を委員長とする「サービス向上委員会」を設置しました。今年度も引き続き、経営陣をはじめ、全社一体となって、お客さま本位の業務運営の浸透強化に取り組んでまいります。



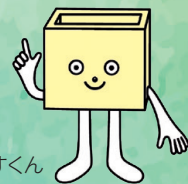
株主の皆さまへ

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、金融市場環境が大きく悪化しております。国内の低金利環境の継続に加え、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う世界経済の悪化や金融市場の混乱が継続する懸念など、運用を取り巻く環境は非常に厳しく、かつ不透明な状況にあります。こうした状況の中、2020年度の親会社株主に帰属する当期純利益は、現時点で想定しうる影響を織り込み、2,000億円を予想しております。一方、2020年度の1株当たりの配当金については、金融市場が当面、先行き不透明な状況にあり、市場動向次第で業績が大きく変動する可能性があることから、今後の業績動向を見極めつつ検討することとし、現時点では未定とさせていただきます。また、今後の市場動向が不透明であること等を踏まえ、2020年度の剰余金の配当については、期末配当の年1回とする方針です。何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

厳しい経営環境の継続が見込まれる中ではございますが、今後も熱意と責任をもって企業価値の向上に努めてまいります。

引き続き、ご支援・ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

*「ゆうちょ通帳アプリ」は9ページで詳しくご紹介しています。



ゆうちょ銀行 投資信託キャラクター ますますくん



4月

預入限度額の変更

通常貯金・定期性貯金合わせて1,300万円から、通常貯金1,300万円・定期性貯金1,300万円に変更

気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 提言への賛同表明

環境・社会および企業活動にも大きな影響を及ぼす気候変動への対応が重要な課題であると認識し、TCFDの提言に賛同を表明しました。

5月

スマホ決済サービス「ゆうちょPay」の開始 & 東急線各駅の券売機でキャッシュアウト・サービスの開始

コードを読み取るだけで、カンタンにお支払いができるスマホ決済サービス「ゆうちょPay」を開始しました。また、「ゆうちょPay」アプリを使って、東急線各駅（世田谷線とこどもの国線を除く）の券売機で銀行預貯金の引き出しができる、キャッシュアウト・サービスを開始しました。



6月

大和証券グループとの資産形成分野における新たな協業の検討

大和証券グループと日本郵政グループは、お客さま一人ひとりのライフスタイル・ニーズに応じた、投資一任サービス等、新たなコンサルティングサービスの開発における協力体制の構築を検討してまいります。

第13期 定時株主総会 (於:ザ・プリンス パークタワー東京)



第13期 定時株主総会を開催

7月

「ゆうちょ認証アプリ」のサービス開始

「ゆうちょダイレクト」のログイン時の本人認証（指紋または顔認証）および送金時の本人認証（予め登録したPINコード）としてご利用いただけるスマートフォン向けアプリ「ゆうちょ認証アプリ」のサービスを開始しました。➔「ゆうちょダイレクト」は8ページで詳しくご紹介しています。

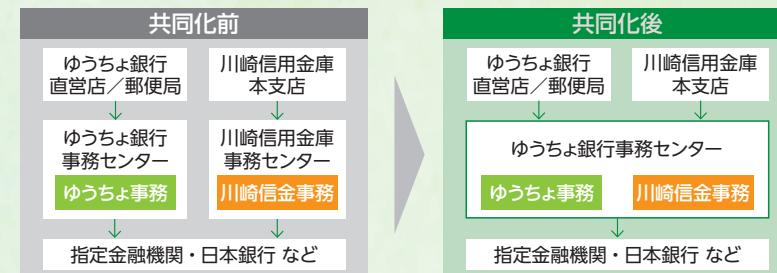
10月

ソニー銀行株式会社を所属銀行とする住宅ローン媒介業務の開始

2月

川崎信用金庫との税公金取りまとめ事務の共同化

これまで金融機関ごとに行っていた、国庫金・県市町村等の領収済通知書の分類・集計・送付などの集中事務を共同実施することにより、事務効率化や使用機器・要員の効率的な運用を行っています。



3月

「ゆうちょ通帳アプリ」のサービス開始

スマートフォンを使っていつでも現在高や入出金明細を確認できる「ゆうちょ通帳アプリ」のサービスを開始しました。➔9ページで詳しくご紹介しています。

株式会社新生銀行を所属銀行とする住宅ローン媒介業務の開始

全国各地で開催しています 個人投資家向け説明会



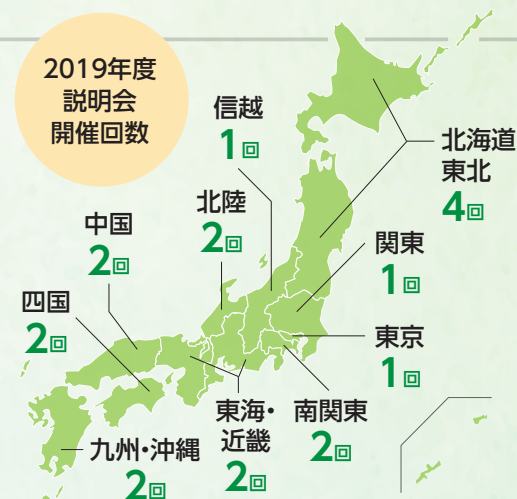
池田社長

最近の説明会の資料等はゆうちょ銀行Webサイトからご覧いただけます。

<https://www.jp-bank.japanpost.jp/>

- トップページ
- 株主・投資家のみなさまへ
- 個人投資家のみなさまへ
- 個人投資家向け説明会

2019年度
説明会
開催回数

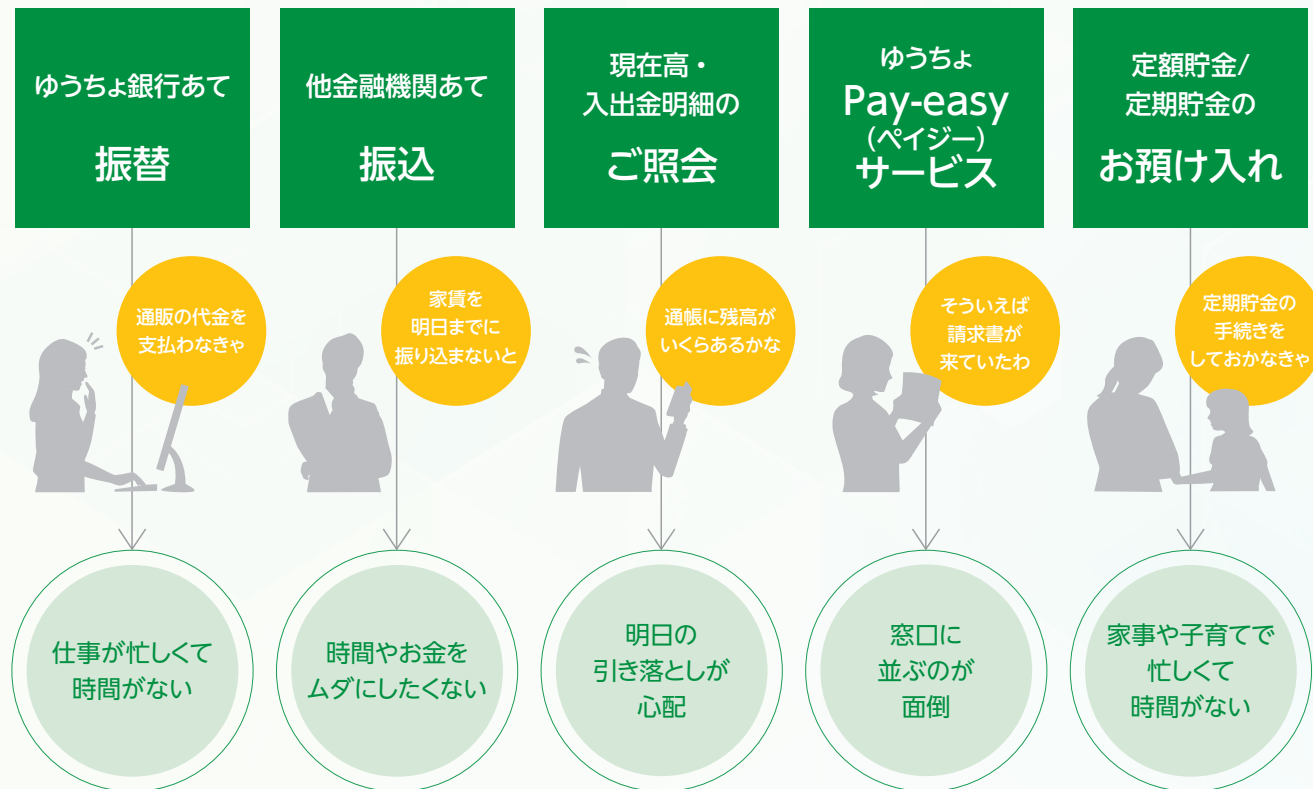


お客さまのさらなる利便性の向上に向けたデジタル化への取り組み

ゆうちょ銀行では、お客さまの生活をサポートし、時代の変化に対応した“新しいべんり”をご提供していきます。
今回の特集では、デジタル化への取り組みをご紹介します。

ゆうちょ銀行では、窓口やATMが閉まっている土日や深夜でも取引できる簡単便利なサービス「ゆうちょダイレクト」やキャッシュレス化に対応した「ゆうちょPay」、「ゆうちょ通帳アプリ」などのサービスを通じて、お客さまの毎日の生活に“新しいべんり”を提供していきます。

こんなことでお困りではないですか？



ゆうちょダイレクトでこんなに簡単便利

▶ いつでも利用できる!

ゆうちょダイレクトなら、窓口やATMが閉まっている土日や深夜でも取引できます。投資信託のお取引・ご照会等もご利用いただけます。



▶ どこでも利用できる!

ゆうちょダイレクトなら、パソコン、スマートフォン、携帯電話、電話・FAXでゆうちょ銀行の口座にアクセスできます。



▶ ゆうちょ銀行口座間の送金は即時に処理します

ゆうちょダイレクトの電信振替なら、ゆうちょ銀行の口座へ、その瞬間に入金します。翌日扱いにはなりません。
また、料金は月5回まで無料（6回目以降は100円）です。



▶ お申し込みは無料!

ゆうちょダイレクトのお申し込みは無料です。詳しくはこちら ▶



ゆうちょダイレクト **プラス** 通帳を発行しない無通帳型総合口座ですので、さらに便利です。

ゆうちょ通帳アプリでこんなに簡単便利

いつでも利用できる!



スマートフォンを使っていつでも現在高や入出金明細を確認できます。

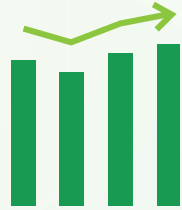
どこでも利用できる!



ゆうちょ銀行の総合口座（通常貯金・通常貯蓄貯金）*をご利用のお客さまであれば、ゆうちょダイレクトにお申し込みいただくことなく、無料でご利用いただけます。

*振替口座、キャッシュカードを利用していない総合口座および法人口座等ではご利用いただけません。

月々の収支が自動で「グラフ」化されます



お申し込みは無料!

0
¥

▶ 現在高照会

24時間どこにいても、パッと「現在高」を確認できます。

▶ 入出金明細照会

お給料日など気になった時に、「入出金明細」が一目でわかります。

▶ 収支のグラフ表示

月々の収支が自動で「グラフ」化され、収支管理に役立ちます。



ゆうちょアプリのご紹介

カンタン便利にお使いいただける、ゆうちょ銀行の各種アプリをご紹介します。すべて無料でご利用いただけます。

ゆうちょ認証



ゆうちょ銀行のインターネットバンキング「ゆうちょダイレクト」の、ログイン時および送金時の本人認証機能としてご利用いただけるスマートフォン向けアプリです。

ゆうちょPay



あなたのスマホがおサイフがわりになる、新しいスマホ決済アプリです。コードを読み取るだけで簡単にお支払いができます。

ゆうちょ銀行ATM検索



「ゆうちょ銀行 ATM検索アプリ」は、北海道から沖縄まで日本全国にあるゆうちょATMを検索でき、ATMの場所まで案内してくれるスマートフォン向けアプリです。

ゆうちょVisaデビットカード「mijica（ミジカ）」



「mijica（ミジカ）」の会員様向けスマートフォン用アプリです。デビットチャージ利用設定や、チャージ残高の確認、利用履歴の閲覧などにご利用いただけます。

アプリペイド機能付き

Webサイトのご案内

ゆうちょ銀行のWebサイトでは、財務情報やIR関連情報、株式関連情報、CSR活動への取り組みおよびESG関連情報などをわかりやすくお伝えしています。ぜひアクセスしてみてください!

<https://www.jp-bank.japanpost.jp/>

トップページ ▶

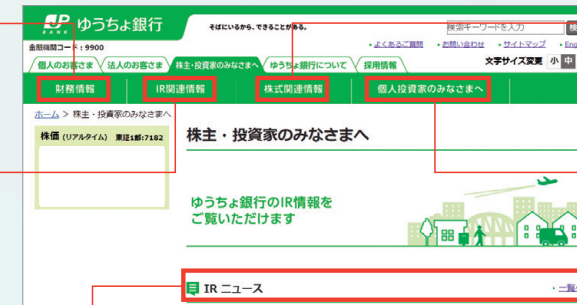
株主・投資家のみなさまへ

財務情報

決算短信や有価証券報告書などをご覧いただけます。

IR関連情報

IRカレンダーや格付情報、IR関連のお問い合わせ（よくあるご質問）などをご覧いただけます。



IRニュース

最新のIR関連ニュースをご覧いただけます。

株式関連情報

株主還元方針や配当情報などをご覧いただけます。

個人投資家のみなさまへ

個人投資家向け説明会、CSR活動への取り組みおよびESG関連情報などをご覧いただけます。

決算ハイライト

決算の概要 (単体)

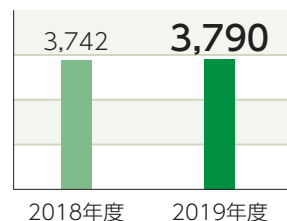
- ☑ 当期純利益は2,730億円となり、前年度比68億円の増益
- ☑ 2019年度の1株当たりの配当額は50円 (うち、中間配当は25円)
- ☑ 資産は国債を中心に有価証券残高が減少、負債は貯金残高が安定的に推移

ポイント解説

Point 1

経常利益 (単体)

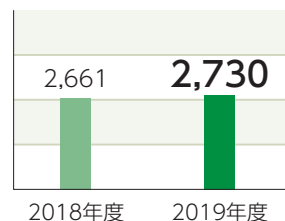
(単位: 億円)



Point 2

当期純利益 (単体)

(単位: 億円)



低金利環境の継続や、新型コロナウイルス感染拡大による市場環境の悪化など、非常に厳しい経営環境下、経常利益は、前年度比47億円増加の3,790億円となりました。また、当期純利益は、前年度比68億円増益の2,730億円となりました。

損益の状況 (単体)

業務粗利益	
資金利益	
役務取引等利益	
その他業務利益	
うち外国為替売買損益	
うち国債等債券損益	
経費 (注)	
一般貸倒引当金繰入額	
業務純益	
臨時損益	
うち金銭の信託運用損益	

Point 1 経常利益

Point 2 当期純利益

注: 臨時処理分を除く。

財産の状況 (単体)

Point 3 資産	
うち有価証券	
うち貸出金	
負債	
うち貯金	
純資産	
株主資本	
評価・換算差額等	

(単位: 億円)

	2018年度	2019年度
業務粗利益	13,270	13,142
資金利益	10,161	9,768
役務取引等利益	1,067	1,288
その他業務利益	2,041	2,084
うち外国為替売買損益	2,194	2,021
うち国債等債券損益	△122	80
経費 (注)	10,375	10,202
一般貸倒引当金繰入額	—	0
業務純益	2,894	2,939
臨時損益	848	851
うち金銭の信託運用損益	777	728
経常利益	3,742	3,790
当期純利益	2,661	2,730

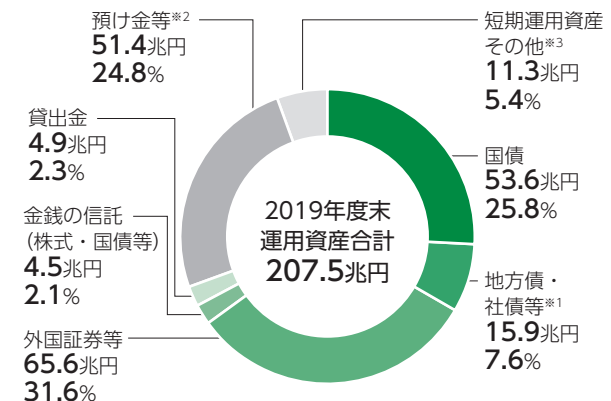
(単位: 億円)

	2018年度末	2019年度末
資産	2,089,704	2,109,051
うち有価証券	1,371,352	1,351,984
うち貸出金	52,974	49,617
負債	1,976,196	2,019,175
うち貯金	1,809,991	1,830,047
純資産	113,508	89,876
株主資本	89,730	90,587
評価・換算差額等	23,777	△710

金額および比率は、表示単位未満を切り捨てて記載しています。

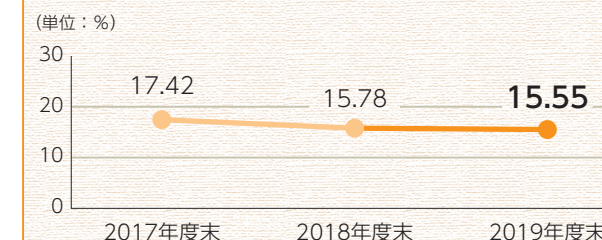
Point 3 運用資産 (単体)

資産のうち、運用資産の状況は次のとおりです。



※1「地方債・社債等」は地方債、短期社債、社債、株式。
 ※2「預け金等」は譲渡性預け金、日銀預け金、買入金銭債権。
 ※3「短期運用資産・その他」はコールローン、買現先約定等。

単体自己資本比率 (国内基準) の推移



用語解説

自己資本比率

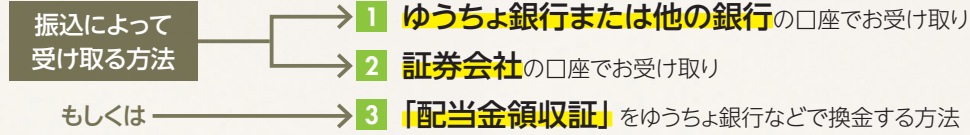
銀行が保有する資産などに対する自己資本の割合であり、金融機関の経営の健全性を示す指標のひとつです。当行のように海外営業拠点を有しない国内基準の対象となる銀行は4%以上の水準であることが求められています。

株主スクエア

Q&A このコーナーでは株主さまからよくいただく質問についてご紹介いたします。

Q ゆうちょ銀行の配当金の受け取り方法について教えてください。

A 配当金の受け取り方法には、次の3つがあります。



Q 配当金をゆうちょ銀行または他の銀行の口座への振込によって受け取るためには、どのような手続きが必要ですか。

A ゆうちょ銀行または他の銀行の口座への振込による配当金のお受け取りを希望される場合は、お取引のある証券会社等までお申し出ください。

Q ゆうちょ銀行の配当金領収証に記載された払渡しの期間が過ぎてしまった場合は、どうしたら良いですか。

A 払渡しの期間経過後のお取り扱いについては、株主名簿管理人である「三井住友信託銀行株式会社」の専用フリーダイヤルまでご連絡ください。
 なお、配当金は支払開始の日から起算して3年以内にお受け取りがない場合は、**当行定款の規定によりお支払ができなくなります**ので、お早めにお受け取りください。

※お手続きなどについてご不明な点がございましたら「株主メモ」に記載しておりますフリーダイヤルまでお問い合わせください。

株主メモ

証券コード	7182
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
1単元の株式数	100株
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
配当金受領株主確定日	毎年3月31日および中間配当を行うときは毎年9月30日
公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載して行います。

主な手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> ● 配当金受領方法の指定のお手続き ● 住所・氏名変更等のお手続き ● 単元未満株式の買取・買増請求のお手続き ● 相続のお手続き 	口座を開設されている証券会社等
<ul style="list-style-type: none"> ● 支払期間経過後の配当金に関するご照会 ● 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ● 各種証明書の発行に関するお手続き ● その他株式事務に関する一般的なお問い合わせ 	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-581-841 (フリーダイヤル) (受付時間 土・日・祝日を除く午前9時～午後5時)

会社・株式情報

■ 会社概要 (2020年3月31日現在)

名称	株式会社ゆうちょ銀行
設立年月日	2006年9月1日 ※2007年10月1日に「株式会社ゆうちょ」から「株式会社ゆうちょ銀行」に商号変更
本社所在地	〒100-8793 東京都千代田区大手町二丁目3番1号
資本金	35,000億円
従業員数	12,477名 ^注
主な事業所	本社、営業所 234

(注) 従業員数は、当行から他社への出向者を含まず、他社から当行への出向者を含んでいます。また、臨時従業員(無期転換制度に基づく無期雇用転換者(アソシエイト社員)を含む。)は含んでいません。

■ 取締役 (2020年6月16日現在)

取締役兼代表執行役社長	いけ だ のり と 池 田 憲 人
取締役兼代表執行役副社長	た 中 すずむ 田 中 進
取締役	ます だ ひろ や 増 田 寛 也
取締役	お の であつ こ 小野寺 敦 子
社外取締役	あか し のぶ こ 明 石 伸 子
社外取締役	いけ だ かつ あき 池 田 克 朗
社外取締役	ちゅう ぼち りょう じ 中 鉢 良 治
社外取締役	たけ うち けい すけ 竹 内 敬 介
社外取締役	かい わ まこと 海 輪 誠
社外取締役	あ い はら り さ 栗飯原 理 咲
社外取締役	かわ むら ひろし 河 村 博
社外取締役	やま もと けん ぞう 山 本 謙 二

■ 株式の状況 (2020年3月31日現在)

発行可能株式総数	18,000,000千株
発行済株式総数	3,749,475千株 (自己株式750,524千株 ^注 を除く。)
株主数	439,763名

(注) 自己株式には株式給付信託が保有する当行株式(682千株)を含めておりません。

■ 大株主の状況^注 (2020年3月31日現在)

株主名	持株総数(千株)	持株比率(%)
日本郵政株式会社	3,337,032	88.99
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	33,597	0.89
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	18,066	0.48
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	13,428	0.35
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	11,710	0.31
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	11,384	0.30
ゆうちょ銀行社員持株会	9,237	0.24
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	6,094	0.16
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	5,823	0.15
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口2)	5,279	0.14

(注) 1. 当行は自己株式として750,524千株(発行済株式の総数に占める持株数の割合16.67%)を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。なお、自己株式には、株式給付信託が保有する当行株式(682千株)を含めておりません。
 2. 持株比率は、自己株式(750,524千株)を除いて算出し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

いつもここに。



ゆうちゃんです。

配当について

2019年度1株当たり配当金

50円 (配当性向
(実績) **68.5%**)

(参考) 株主還元基本方針 (2020年度末まで)

- 1株当たり配当金50円(年間)の確保を目指す
- 安定的な1株当たり配当を目指す
- 今後の規制動向、利益成長や内部留保の充実等の状況により、追加的な株主還元政策を実施することも検討

2020年度予想1株当たり配当金

未定 (配当性向
(予想) **未定**)

- 株主還元基本方針は(参考)のとおりですが、2020年度の1株当たりの配当金は、金融市場が当面、先行き不透明な状況にあり、市場動向次第で業績が大きく変動する可能性があることから、今後の業績動向を見極めつつ検討することとし、現時点では未定とさせていただきます。
- また、今後の市場動向が不透明であることや、足許のその他有価証券評価差額金の状況を踏まえ、2020年度の剰余金の配当については、期末配当の年1回とする方針です。

株式会社 ゆうちょ銀行

〒100-8793 東京都千代田区大手町二丁目3番1号
大手町プレイスウエストタワー

